2020年４月号　　４月15日（水）発行

釧路湿原国立公園　　温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 283

どんな時でも巡る季節…

遊歩道の一部が開通し、ビジターセンターから湿原内まで歩けるようになりました。湿原はまだ茶色が目立ち、花の時期はもう少し先かな、思われるかもしれませんが、目を凝らすと小さな緑が芽吹いていたり、ぽつらぽつらと花が咲いていたりするのがわかると思います。
どんな時でも季節はちゃんと巡ってきますね。

☆☆☆温根内ビジターセンター周辺の自然情報☆☆☆

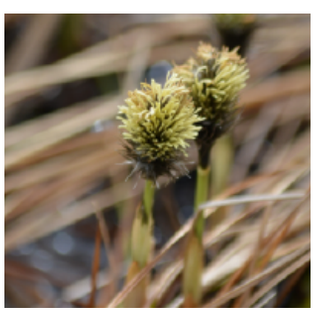
～温根内ビジターセンター周辺の自然～

【フキノトウ(アキタブキ)】
キク科　秋田蕗
地面から真っ先に顔を出し、春の到来を象徴する植物です。これは花で、例の大きな葉を広げるのはこれからです。

【キタミフクジュソウ】
キンポウゲ科　北見福寿草
今年も丘陵地の片隅で黄色い花を綺麗に咲かせています。日光に向かって咲くので時間帯によって花の向きが変わることがあります。

【キヌヤナギ】
ヤナギ科　絹柳
ヤナギ科の樹木は雄株と雌株があります。写真は雄しべの先の葯と呼ばれる黄色い点々が目立つ雄花、つまり雄株です。

【ヒメイチゲ】
キンポウゲ科　姫一花
早春に咲く可憐なキンポウゲ科の花。小さいので見つけにくいですが、少し湿った丘陵地や、湿原の中に咲いている場合もあります。



【ワタスゲ】
カヤツリグサ科　綿菅
ミズゴケ湿原に最初に咲く花です。よく白い綿毛の方を花と勘違いされますが、あちらは「実」で、５月に見頃を迎えます。

【エゾアカガエル】
アカガエル科　蝦夷赤蛙
繁殖のため湿原で「キャラララ…」という鳴声をオスが響かせています。警戒心が強く、近づくとすぐ水の中に隠れてしまいます。

○表紙の写真 上：キタミフクジュソウ　中右：エゾシカ　中左：積雪から顔を出すフキノトウ　下：鶴居軌道跡の遊歩道

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内にも春が到来し、繁殖のために夏鳥たちが続々と渡って来ています。今シーズンは暖冬の影響なのか、夏鳥たちの初認が例年より早いようです。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽にお申し付けください。

【オオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科　大寿林
今年もオスが渡って来ています。この日は水辺で採餌していましたが、もうすぐいたるところで囀りが聞こえてくるでしょう。

【オオハクチョウ】 旅鳥（一部越冬）カモ科 大白鳥
越冬を終え、繁殖地へ帰ってゆく旅鳥で、上空を時折通過していきます。真っ白の下面が青空を飛ぶ姿は魅了されます。

【ワタリガラス】 冬鳥
カラス科　渡鴉
越冬のためにやってくる渡り鳥のカラスです。高い声で「クヮロ、クヮロ…」などと鳴くので、その存在に気づきます。

【トラツグミ】 夏鳥（一部越冬）ヒタキ科　虎鶫
冬季に時々見られる「珍客」ですが、４月に確認されるのは初めて。水辺で採餌していたようです。国内のツグミ類では最大の種です。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（３月 15 日～４月 14 日）※和名は五十音順

■アキタブキ■エゾエンゴサク■キタミフクジュソウ■キヌヤナギ■ケヤマハンノキ■バッコヤナギ■ハンノキ■ヒメイチゲ■ワタスゲ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（３月 15 日～４月 14 日）和名は日本鳥類目録第７版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■ハイイロチュウヒ■ノスリ■コゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ（3/25 初認）■ヒヨドリ■ウグイス（4/11 初認）■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■トラツグミ■ツグミ■キセキレイ（4/12 初認）■ハクセキレイ（3/28 初認）■カワラヒワ（4/6 初認）■マヒワ■ベニマシコ（4/3 初認）■カシラダカ■オオジュリン（4/3 初認）

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。
※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

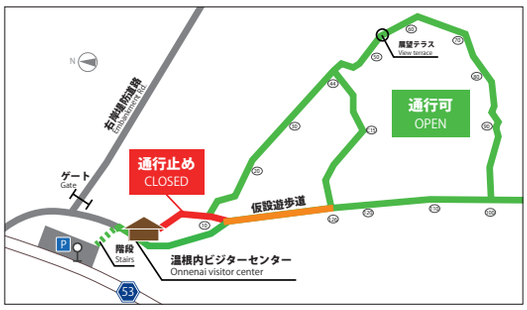
☆☆☆☆　自然ふれあい行事が開催されました　☆☆☆☆

◎『春の足音を聴きに行こう』４月 12 日　参加者：17 名　（講師：藤原伸也）

「オスとメス」「双眼鏡を使いこなそう」をテーマに掲げ、春を見つけに湿原を散策する今年度最初の行事を行いました。遊歩道を歩き始めて早速、双眼鏡を使って丘の斜面に咲くキタミフクジュソウや地面に咲くアキタブキの花をじっくり観察しました。アキタブキについては雄株と雌株の違いについても詳しく観察ができました。ハンノキ林では講師が見つけたミドリシジミの卵を、双眼鏡を逆から覗いてみる手法を紹介し、独特な卵の模様を見ることができました。こうした、短～中距離の対象を見ることに双眼鏡を用いると、自然観察が一層楽しめることを参加者も掴めたようでした。

☆☆☆☆　遊歩道の一部開通のお知らせ　☆☆☆☆

このたび、鶴居軌道跡を仮設遊歩道として開通し、歩けるようになりました。ビジターセンターの裏側から歩道が通じていますのでご利用ください。なお、ビジターセンターから湿原側へ入っていくコースはまだ通じておりませんのでご注意ください。詳しくは、次のページに示したコースマップをご確認ください。利用者の皆様には今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。



ビジターセンターの裏側から遊歩道が通じています

☆☆☆　引き続き 新型コロナウィルス感染拡大防止にご協力を　☆☆☆

新型コロナウィルスの感染拡大が続いています。北海道でも、まだまだ油断はできない状況です。皆様のご協力を引き続き、お願いいたします。

- 当センター内の入口やトイレには消毒用アルコールを設置しておりますので、手指消毒にご使用ください。また、職員は現在マスクを着用して対応させていただいております。ご了承ください。
- 温根内ビジターセンター・塘路湖エコミュージアムセンターにて予定している自然ふれあい行事（下記）は、今後の感染状況などによって中止となる場合もあります。中止が決定した際は、当センターの Facebook やホームページ等でお知らせいたしますのでご確認ください。

☆☆☆☆イベントのご案内（5月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター　⇒お申し込み☎ 0154-65-2323

♪アイヌの自然観 ～植物編～

〔日時〕５月 10 日（日）10：00 ～ 12：00　〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料　〔場所〕温根内ビジターセンター

春を迎えた温根内周辺を歩き、アイヌ民族が利用した植物を観察しながら彼らの自然観と知恵を学びます。

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕５月 24 日（日）８：00 ～ 10：00　〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕 無料　〔場所〕温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎します！

※双眼鏡を無料で貸し出しいたします。必要な方は申込時にお知らせください。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪春の湿原 野鳥観察会

〔日時〕５月４日（月・祝）10:00 ～ 12:00　〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料　〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

～アメリカミンクに注意～

アメリカミンクが繁殖期のため活発に活動しています。見かけても絶対に触ったり、エサを与えたりはしないでください。本種は特定外来生物です。許可なく捕獲したり譲渡したりすることは法律で禁じられています。

月刊　温根内通信　No. 283
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒 085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間：9:00 ～ 17:00（11 月～３月は 16:00 まで）
休館日：毎週火曜日（12/29 ～ 1/3 は休館）　入館無料